

陳 情 文 書 表

平 2 6 陳 情 第 7 号	平成 2 6 年 6 月 1 9 日 受 理
件 名	秦野市で中学校完全給食実施を求める陳情
陳 情 者	秦野市栄町 8 - 2 秦野市で中学校給食の実現を目指す会 代表 古尾谷 一宏
陳 情 の 要 旨	
<p>平成 2 4 年度において、県内公立中学校における完全給食の実施率は 2 4 . 9 %、全国では 8 3 . 8 % となっており、全国と比べ低い実施率となっています。現在、秦野市においても、中学校給食の導入についての検討が進められていますが、県内では新たに川崎市や藤沢市などが実施を決定しています。</p> <p>持参するお弁当には、親の愛情がこもっていることは事実です。しかし、各家庭での経済格差が大きくなっている現在においては、すべての親が安心して安全な、栄養バランスのとれたお弁当をつくることのできる状況ではないことも、また事実です。そのため、朝食の欠食や子供の偏食などにより、肥満や痩身の身体的影響だけでなく、精神的に落ち着かないといった心身の健康に影響が出ています。</p> <p>憲法の理念や児童の権利に関する条約に照らしても、家庭環境によって子供が適切な食事がとれない状況はなくしていくべきです。中学校完全給食が実施されれば、そのような状況は改善され、さらには、学校給食法などで求められている食育の推進ともなり、子供たちは、より落ち着いて勉学に取り組めるものと考えます。</p> <p>また、秦野市でつくられた農作物を使用した給食を子供たちに提供することで、輸送などで生じる環境負荷の低減、新鮮な食材を口にできることなど、理想的な地産地消の実現が図れると考えます。</p> <p>つきましては、秦野の子供たちの健康な心身の発達をより促せるよう、次の事項について陳情します。</p> <p style="margin-top: 20px;">陳情事項</p> <p>1 次に掲げる事項に配慮した中学校完全給食を秦野市で実施すること。</p> <p>(1) 安心して安全な給食をつくるために必要な栄養士及び調理師を配置し、栄養バランスのとれた食事を提供し、及びアレルギー対策の充実を図ること。</p>	

(2) 給食の食材については、秦野市でつくられた農作物を積極的に使用し、食材の安全性のチェックを厳重に行う仕組みを作ること。